

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis) 【井上研究室】		授業コード	L120609
担当教員名	井上 正文		科目ナンバリングコード	L41206
配当学年	4	開講期	前期・後期	
必修・選択区分	必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件	井上研究室に配属された学生のみ履修することができます。			
受講心得	卒業研究のテーマについて、関心を持ち、積極的に取り組むことが大切です。そのようなテーマを受講学生と担当教員が、相談しながら選びます。			
教科書	その都度、資料を配布するなどして、提供する。			
参考文献及び指定図書	その都度、適切な図書を紹介する。			
関連科目	構造設計1、研究ゼミナールA、研究ゼミナールB			

授業の目的	自らが研究してオリジナルな成果を出すことを目標とします。担当教員の指導のもとで、研究を進めますが、受講生自身が自ら研究を遂行する経験が、社会人として活動する中で重要な意味をもちます。
授業の概要	木質構造に関する未解決の問題からテーマを選び、文献調査、解析、実験などを通じて研究します。1年間の研究をまとめて、卒業論文を作成します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：木質構造に関する課題の説明	復習：90分
第2週：卒業研究のテーマについて	復習：90分
第3週：卒業研究のテーマの検討	復習：90分
第4週：テーマについての既往の研究について	復習：90分
第5～8週：既往の研究探索	
第9～12 週：テーマの具体的内容の決定	
第13～20 週：研究の実施	
第20-21 週：研究の中間まとめ	
第22-24 週：研究結果の検討	
第25-27 週：研究のまとめ	
第28-29 週：論文の作成	

第30週：研究発表		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自ら学ぶ姿勢を身に着ける
【知識・理解】	卒業研究を通じて、課題解決のための手順や工程を身につける
【技能・表現・コミュニケーション】	自分が身に付けた知識を分かりやすく専門外の人に説明できる
【思考・判断・創造】	基礎的知識を使って、自ら課題を認識して、その解決策を思考することができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			30点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			30点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			10点	

<p>（「人間力」について）</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。</p>
--

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	身に着けた知識を筋道たてて説明するための資料の作成ができる
発表・その他(無形成果)	対面での、質問に的確に回答できる